

## 予算委員会開会要求

米国とイスラエルが二月二十八日にイランを先制攻撃したことに端を発する中東情勢や、ホルムズ海峡の事実上の閉鎖等によって国民生活および経済に重大な影響が生じる中、野党各党は、早期の補正予算の編成と、内外の諸情勢についての議論の機会を求め続けてきた。六月三日には三兆円規模の補正予算が提出されたものの、その中身は政府への事実上の白紙委任に等しい予備費の積み増しであり、審議時間も異例の短さであったこと。また、特別国会における予算委員会集中審議の総時間が、例年と比較して極めて短いことなどからも、改めて六月と七月の予算委員会集中審議実施を求めてきたが、未だ七月の日程についての回答が得られていない。

高市総理が陣営による中傷動画疑惑等について答弁に代えて陳述書を提出するとしたことは、国会審議を軽視するものである。陳述書を盾にして疑惑の解明を避けるかのような対応は、説明責任の放棄である。

物価高、円安、G7、ホルムズ海峡を巡る情勢、税制改革など、直近の課題への対応は国民生活に直結するものであり、国会における十分な審議は必須である。

よって参議院規則第三十八条第二項の規定に基づき、緊急に予算委員会の開会を要求する。以上についての回答を令和八年七月三日正午までに求める。

令和八年六月三十日

### 予算委員会

理事	森本真治	広田元田	浜野喜史	杉久武
委員	石垣のり	小島とも	伊藤孝恵	高木真理
	村田享子	山内佳菜子	伊藤孝恵	牛田茉友
	田村まみ	平戸航太	窪田哲也	佐々木雅文
	原田大二郎	安達悠司	塩入清香	中田優子
	大門実紀史			

予算委員長 藤川政人 殿